

■石川年足 上級官人・政治家。性質は無欲でつつしみ深く、政治に熟達していたと伝えられる。

いしかわのとしたり

・・・・・・・・ 688= 生。石川宮麻呂の孫。石川石足の長男。

不比等娘入内 697= 9歳 :

持統天皇没 702=14歳 :

・・・・・・・・ 706=18歳 :

平城京遷都 710=22歳 :

元正天皇即位 715=27歳 :

初め少判事。

藤原不比等没 720=32歳 :

地方官を歴任,

聖武天皇即位 724=36歳 :

長屋王の変 729=41歳 :

・・・・・・・・ 730=42歳 : 仏心も厚く、父石足のための「仏説弥勒成仏経」十部の書写を始め、写経や造仏のことが知られる。

風土記完了 733=45歳 :

真備玄昉帰国 735=47歳 : *従五位下に叙せられ、出雲守に任ぜられると、
_数年で民生を安定させたと伝わるが、おそらく諸国での体験が開花したものであろう。

藤原四卿没 737=49歳 :

・・・・・・・・ 739=51歳 : *善政の国司として賞賜をうけて名をあげ、
藤原広嗣の乱 740=52歳 : 従五位上に進んでからは順調に昇任・昇叙し、

壺田永世法 742=54歳 :

大仏造立の詔 743=55歳 : 正五位下にすすみ、

大仏鑄造始 747=59歳 : 従四位下春宮大夫兼左大弁となる。

孝謙天皇 749=61歳 : 従四位上、式(治力)部卿で紫微大弼(次官)を兼ね、*参議に列した。

懐風藻 751=63歳 :

以後、治部卿・左中弁・式部卿(のち文部卿)・

・・・・・・・・ 753=65歳 : 従三位大宰帥、

大宰帥・神祇伯・兵部卿・中納言などを歴任し、

聖武天皇没 756=68歳 :

孝謙天皇讓位 758=70歳 : 正三位に進む。_恵美押勝(藤原仲麻呂)に協力して官職名を唐風に改める官号改易を行なう。

万葉集最終歌 759=71歳 : 中納言兼文部卿神祇伯。_封事を上奏、「別式」20巻を作り、律令と並び行なわれることを請う。

光明皇后没 760=72歳 : _御史大夫(大納言)に昇ったが、

新羅征討計画 762=74歳 : 御史大夫正三位兼文部卿・神祇伯・勳12等で京宅で_没した。

この間、東海道巡察使、国分寺設立を督促する使者、宇佐八幡神入京の際の迎神使、遣唐使の平安祈願のための伊勢奉幣使、元興寺で「梵網経」を講ずる役などを務めた。「別式」は施行もされず今に伝わらないが、当時。実務の重要な参考になり、「弘仁式」のもとになったといわれる。藤原仲麻呂政権下で要職についたことから、単なる能吏ではなく、政治的にも学問的にもなみなみならぬものをもっていただけと考えられる。「万葉集」に作歌を残し、のち年足の墓志が発見され、墓所も明らかである。